

平成 29 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

社 会 的 養 護

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、第二次世界大戦後のわが国における社会的養護に関する記述である。
適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 1947（昭和22）年に「児童憲章」と「児童福祉施設最低基準」が制定された。
- B 第二次世界大戦後の1948（昭和23）年、厚生省による「全国孤児一斉調査」において、およそ12万人の孤児が報告された。
- C 堀文次が1950（昭和25）年にホスピタリズムに関する論文を発表した。
- D 国際連合総会における「児童権利宣言」の採択が契機となり、1960（昭和35）年に中央児童福祉審議会が要保護児童対策等の意見を答申した。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

問2 次の文は、社会的養護の地域化と市町村との連携に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一般的子育て家庭と社会的養護を必要とする状況の家庭が重なるグレーゾーンにある家庭への対応も重要であり、市町村の児童家庭相談や要保護児童対策地域協議会、子育て支援事業などによる対応が必要である。
- B 親子を分離して施設や里親によって養育する場合でも、可能な限り、地域の通常の家家庭的環境で養育できるように、グループホームの活用を含め地域の中で社会的養護が行えるような支援体制の整備が重要である。
- C 社会的養護を担う施設や児童家庭支援センターは、市町村の要保護児童対策地域協議会に参加して、市町村の取組と連携し、場合によっては市町村からの委託を受けて地域で専門的な相談指導を充実させていくことが重要である。
- D 児童家庭支援センターは、第一種社会福祉事業に位置づけられた相談支援施設として保育士の配置が義務づけられており、市町村との連携について積極的に取り組んでいくことが期待されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	×	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問3 次の文は、施設職員などによる被措置児童等に対する虐待に関して規定している「児童福祉法」第33条の10についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置に関する規定はない。
- B 著しい暴言又は著しく拒絶的な対応その他の被措置児童等に著しい心理的外傷を与える言動に関する規定はない。
- C 身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えることに関する規定はない。
- D わいせつな行為をすること又は被措置児童等をしてわいせつな行為をさせることに関する規定はない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	×

問4 次の文は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（昭和23年厚生省令第63号）に規定されている職員の配置についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 乳児院には、「児童の遊びを指導する者」を配置することとされている。
- B 児童心理治療施設には、「家庭支援専門相談員」を配置することとされている。
- C 医療型障害児入所施設には、「児童自立支援専門員」を配置することとされている。
- D 児童家庭支援センターには、「心理療法担当職員」を配置することとされている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	○	×	×

問5 次の文は、現在の社会的養護の基本的な考え方に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会的養護は、一般の子育て支援施策と一連の連続性を持つものであり、密接な連携が必要である。
- B 社会的養護は、「子どもの最善の利益のため」という考えをもとに、子どもが心身ともに健康に育つという基本的な権利を保障する。
- C 社会的養護は、不適切な養育をする保護者から子どもを分離することを原則とし、保護者への懲戒を含む指導・教育を行う。
- D 社会的養護は、子どもに対して未来の人生を作り出す基礎となることを意図して、子ども期の健全な心身の発達の保障を目指し、このことが自立した社会生活に必要な基礎的な力を形成していく。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

問6 次の文は、母子生活支援施設に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童養護施設入所児童等調査結果（平成 25 年 2 月 1 日現在）」（厚生労働省）によると、入所者の入所理由で最も多いものは、「配偶者からの暴力」であり、子どもの被虐待経験は減少している。
- B 母子生活支援施設では、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（昭和23年厚生省令第63号）において、自立支援計画の策定が任意として規定されている。
- C 「児童養護施設入所児童等調査結果（平成 25 年 2 月 1 日現在）」（厚生労働省）によると、母子生活支援施設に入所している母親の半数以上が、2人の子どもを養育している。
- D 母子生活支援施設は、児童相談所等を介しての措置による利用のみとなっている。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	×

問7 次の文は、要保護児童に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「社会的養護の推進に向けて（平成29年3月）」（厚生労働省）によると、里親・ファミリーホームに委託される児童の数は、過去5年増加している。
- 2 「社会的養護の推進に向けて（平成29年3月）」（厚生労働省）によると、児童養護施設に入所する児童は、過去5年減少傾向にある。
- 3 「社会的養護の推進に向けて（平成29年3月）」（厚生労働省）によると、乳児院に入所する児童の数は、過去十数年において、約1割増となっている。
- 4 「児童養護施設入所児童等調査結果（平成25年2月1日現在）」（厚生労働省）によると、児童養護施設に入所している児童の平均在所期間は、里親委託されている児童の平均委託期間より長い。
- 5 要保護児童とは、「児童福祉法」において、保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童と定義されており、非行の問題を抱える児童は含まない。

問8 次の文は、家庭養護に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 里親は「社会福祉法」に規定されている、要保護児童を養育することを希望する者である。
- 2 養育里親の登録の有効期間は、3年間と規定されており、更新研修を受ける必要がある。
- 3 小規模住居型児童養育事業は、「児童福祉法」に基づく、第二種社会福祉事業である。
- 4 里親の養育対象の子どもは、18歳未満であるが、必要に応じて22歳まで養育の対象となる。
- 5 「児童福祉法」の改正を受け、平成29年4月より、養子縁組里親への研修が義務化されることとなった。

問9 次の文は、里親支援専門相談員についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 配置がされる児童福祉施設は、里親支援を行う、児童養護施設と乳児院である。
- B 子どもたちの日常的な様子を知っておくため、入所している子どもたちの日常生活支援をする施設において、直接処遇職員の勤務ローテーションに週1回程度は入っている。
- C 担当する業務の中に、養子縁組を積極的に勧める活動がある。
- D 支援の対象とする里親家庭は、施設の所在する都道府県等の所管区域内と規定されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	×
4	○	×	×	×
5	×	×	×	○

問 10 次の文は、特別養子縁組に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 特別養子縁組は、「児童福祉法」に規定されている。
- B 特別養子縁組の対象となる子どもは、5歳未満と規定されている。
- C 養親となる者は、夫婦であり、共に20歳以上でなければならない。
- D 実親との法的な親子関係は終了する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

